



深大寺社会参加活動 平成26年11月30日



調布 狛江 保護司会だより

NO.34

発行責任者

調布狛江保護司会
会長 鴨志田 守久



深大寺における社会参加活動

東京保護観察所立川支部長 南元 英夫

調布・狛江地区保護司会の皆様には、平素、更生保護の活動に多大なるご尽力を賜り、心から御礼を申し上げます。

昨年十一月三十日(日)、深大寺における社会参加活動に初めて参加させていただきました。当日は朝から晴天に恵まれ、前日の雨に濡れた草木や紅葉が眩しく、山全体が光を放っているかのような美しい、清らかな景色の中で活動することができました。作業は三つの班に分かれ、深紗大王堂、開山堂、不動堂において、午前中はそれぞれ塵払いや硝子磨き、落ち葉掃き等を行い、更生保護女性会の方々が御準備くださった美味しい昼食をいただいた後は、各御堂で仏具磨きを行いました。この作業では、一つひとつの仏器や茶器等に染み付いた汚れを落とすためにかなりの時間と労力を要しながら、丹念に磨けば磨くほど確実に黄金の輝きを取り戻す課程を体験することができました。「この汚れは落ちるはずがない。無理。」と半ば諦め、絶望しつつも同じ部分を磨き続けていると、ある時、急に光り始めるのです。そして、「これ以上は絶対に無理。」と観念してからは本当の勝負のようで、更に磨き続けることで輝きが増してくるのには驚かされました。大袈裟ではなく己との闘いであり、自らの精神を清めているかのような感覚を味わうことができたと思います。参加した少年たちも終始真剣に取り組んでおり、貴重な体験となったようで、終了後の満足げな表情が印象的でした。

今回で十八回目となる本活動は、毎回、調布・狛江地区のほとんどの保護司の方に御参加いただいております。調布、狛江両市長もお越しくださっています。そして、更生保護女性会の皆様を始めBBS会員その他大勢の方に支えていただいております。この活動をここまですばらしいものに育て、継続されてきた皆様に敬意を表し、御礼を申し上げますとともに、活動の場を与えてくださっている深大寺御住職に深く感謝いたします。

地区管外研修 前橋刑務所

園田 和子

赤レンガ造りのアーチ型の門と塀の一部は歴史を感じさせます。明治九年に利根川岸に前橋囚獄が設置され、同二十一年に現在地に移転、大正十一年に前橋刑務所に改称。現在の収容者は七四〇名(定員九三九名)、二十六歳以上の日本人男子(刑期十年以下の累犯者)及び日本語による意思疎通が可能な外国人男子です。更生と社会復帰を図るための刑務作業は一般企業などから受注して行う生産作業(木工・印刷・洋裁等) 自営作業(洗濯・炊事・営繕・清掃等) 職業訓練(溶接・フォークリフト運転) 生産技術取得訓練(木材工芸・革工芸)と多岐に亘ります。八十歳以上の者(作業場が二か所あり受刑者の二割)と集団作業のできない者は軽作業になります。各部屋にTVがあり一斉放送でNHKニュース等を視聴することもでき、受刑者の状況に応じた必要な処遇が行われていました。

十月三十日調布・狛江の事務局二名を含む三十七名が参加しての有意義な研修でした。



前橋刑務所

警視庁と法務省研修

調布・狛江保護司会 研修部 富永 淑子

立秋を過ぎた十一月十一日に警視庁と法務省に管外研修に行つてまいりました。

庁舎は迷路のような造りで迷子になりそうでした。初めて訪れた私は緊張していましたが、クイズなどでリラックスした後、明治からの資料が展示してある「参考室」にて歴史を垣間見、通常では見る事の出来ない通信指令センターを見学することが出来た事は、忘れられません。午後は眼目を開き、第三課の方から暴力団の話や、少年センターの所長さんから、今話題の「危険ドラッグ」の話の伺い、身近な事として参考になりました。

その後、道路を一本渡った趣のある赤レンガ造りの旧法務省は、再現された明治時代の内装の優美さは見事で、保護司の任命をする法務省の原点を勉強させて頂きました。



旧法務省赤レンガ



調布分区自主研修 「こころの病のある方への支援」

調布市こころの健康支援センター
センター長 小山 明子氏
平成二十六年十一月十七日実施

土屋 邦子

平成十九年に精神障害者の自立と社会参加、市民の心の健康づくり、心の健康に関する幅広い課題に取り組み場として発足した。相談者は七年間で六倍に増加。職場での変則勤務の結果としての鬱病、人間関係の複雑化から鬱や統合失調症など。以前より精神科の敷居が低くなった。相談事業の他に就労支援事業や家族支援事業も実施している。就労支援は働くための準備が必要。病気の理解、規則正しい生活習慣、コミュニケーション、求職技能など様々な支援をしている。こころの病への支援として①基本は傾聴(じっくり話を聞いてあげる)②安心・安全感(守られているという意識の提供)③距離をとる(相手の感情にまきこまれない・自分に出来ることは限りがある)これは、保護司の姿勢と共通する、と実感した。



臨時総会

総務部長 鈴木 宗貴

高木光会長が定年により退任することから、役員の一部改選を議案とする調布分区総会と、調布・狛江地区総会が十一月六日に開催され、分区・地区総会共に、議長には土屋保護司、副議長には目良保護司が選任され、スムーズな議事運営が行われました。

調布分区総会では、分区長に相田常行保護司、副分区長に宮内弘保護司が満場一致で承認されました。地区総会では、会長に鴨志田守久保護司、副会長に相田常行保護司が満場一致で承認され、十一月十四日より就任することとなりました。また、地区総会では、退任される高木会長に、副議長を務められた目良保護司より花束が贈呈され、大きな拍手が送られました。

地区総会後に「渝園」で開催された懇親会は、カラオケ大会となり大変に賑やかに、懇親を深めました。



調布市立小・中学校合同生活指導主任会と保護観察所・保護司との連絡協議会

調布分区学校連携推進委員

委員長 岡本 幸次

十一月六日、調布市教育会館において調布市立小・中学校合同生活指導主任会で、先生がたとの連絡協議会を開催致しました。今年度は小学校の生活指導主任の先生がたとの連絡協議会を開催致しました。

今年度は小学校の生活指導主任の先生がたを含んでの協議会で、小学校の現状、中学校の現状等と、観察所で作成していただいた事例を基に沢山の情報交換が出来たと思います。

今年度も生活指導主任の先生を中心に各中学校担当保護司が中学校地区ごとの八グループに分かれての情報交換会でした。

保護司の仕事は更生保護だけでなく、非行防止、犯罪予防が重要な使命があるので、先生がたのご理解、ご協力も必要ではないかと思えます。又、より一層学校との連携を深めていき、子供達の健全育成に皆様のご協力よろしくお願ひします。

小学校生活指導主任会

十月九日(木)、午後二時三〇分より調布市教育会館において開催致しました。

当日は保護司が三十四名、市内二〇校の小学校生活指導主任の参加を得て、小学校の先生方の話を聞くことができ、とても有意義な協議会でした。

北海道研修旅行記

狛江分区保護司会

豊島 秀臣

九月七日小雨降る早朝、役所に集合し羽田空港からたんちよう釧路空港へと飛び立ちました。普段から仲睦まじい同士さらに盛り上がる中、釧路から観光バスに乗り換え、まず目に飛び込んできたのは雄大な景色はもとより、野生の丹頂鶴やエゾ鹿たちが、私達一同の訪れを歓迎してくれました。摩周湖、屈斜路湖等を経て、今回の目的地網走市内に入りました。二日目の網走刑務所視察研修は、所長挨拶の後、講義から所内見学へ。緊張感漂う中、収監者の手から生まれくる数々の手工芸品の素晴らしさに目を奪われ、更生に向けて励む姿に力強さを垣間見ることが出来ました。

三日目最終日の朝、世界自然遺産の「知床探訪」に感動したりと、すっかり大自然の中に溶け込みながら学ぶ研修旅行となりました。終わりに、添乗員顔負けに、細やかな気配りを惜しまずお世話頂いた研修部長と幹事の方々に心より感謝を申し添え、研修報告とさせていただきます。



網走刑務所

平成二六年度 深大寺社会参加活動について

調布・狛江地区 地域活動部

会計 栗山 剛

前日は、台風のような大雨でしたが、活動日当日は、爽やかな秋晴れの下深大寺社会参加活動が出来ました。私は会計として、前日の更女の方々と、買い出しお手伝いを致しました。毎年皆様がおいしく頂いておりますお昼ご飯は、更女の皆様が、前日の買い出しを終えた時点で、既に大雨になり、午後からは、白井様の調理場まで、大雨中さらに多くの更女の皆様が集まり、大量の昼食を用意して頂きました事に感謝致します。当日は、深大寺そばイベントと重なり、作業場所も狭く、とても大変だったのではないのでしょうか。一昨年までは、私は更女の皆様が、裏方でご苦労されている事を知りませんでした。奉仕活動は、更女の方のご協力が有って成り立っている事を実感いたしました。提案として、前日準備も対象者が、調理のお手伝いが出来たら、とても良い経験が出来ると思います。表には出ないが立派な奉仕活動になると感じました。最後にまりました。毎年美味しい昼食をありがとうございます。



お堂の清掃

社会参加活動く深大寺清掃に参加して

狩野 明彦

十一月三十日、保護司を拜命して三ヶ月、初めて深大寺の社会参加活動に参加させていただきました。当日は保護司の方だけではなく、更生保護女性会の方々をはじめ八十名を超える方々が集まられており、前日からの準備を含め皆様の熱意を感じました。その様な中、私の担当場所は不動堂の清掃でした。初めてでしたが適切なご指示をいただき、落葉掃きや戸の水洗い。そして思わず美味しくておかわりした昼食後、再び不動堂にて仏具のお磨きをしました。なかなか綺麗にならない仏具も、皆様とお話をしていううちに「あれよあれよ」と綺麗になり自分の心まで綺麗になった様な気が…。根が凝り性なのでまた是非「お磨き」をしたいと思えます。この様な機会をいただき、ありがとうございます。

社会参加活動(深大寺清掃)

内海 貴美

冬空の下、風もなく穏やかな日に、初の深大寺清掃活動に参加しました。

これまで、深大寺といえば…おそばを食べに行くことで出かけていました。とても貴重な体験をさせていただきました。住職さんのお話により、掃除は、自分を磨く・清める・掃く、とのこと。確かに無になり雑巾がけをしていると気持ちが悪くなったような気になりました。不思議です。

また、午後からの仏具磨きでは、磨けば磨くほどに光っていくのがみえ、どこまで磨いてよいのか

かわからないほどでした。そして護摩供養ではありがたい法話を、ユーモア含み楽しく伺えました。最後になりましたが、美味しい昼食を「ご馳走様でした。」

社会参加活動(深大寺清掃)に参加して

小林 孝

九月に委嘱を受けて以来様々な研修・集まりに参加しています。どれもこれも初めての体験でも新鮮です。今回の深大寺清掃ももちろん初めてです。天候にも恵まれ保護司会をはじめとても多くの方々が参加され賑やかに行われました。通常は入れないお堂で通常触れることもないであろう仏具等の清掃を緊張しつつ行います。皆黙々と作業を行い次第に綺麗になっていくお堂に気持ちも清々しく洗われるようでした。お昼は更生保護女性会の方々が中心に作られた沢山のお料理を美味しくいただきました。午後は作業の後、護摩供養と張堂住職の法話をいただきました改めて元氣をもらいました。普段の運動不足もあり少々疲れはしましたがとても良い経験ができました。色々ご指導頂いた諸先輩方がありがとうございます。



仏具磨き

昨晩までの雨が嘘のように晴れ渡った晩秋の日曜日、調布・狛江保護司会主催による深大寺社会参加活動が行われました。今年で十八回目となるこの活動は、更生保護女性会やBBSなどの協力を得て、社会復帰を目指す保護観察対象の若者を支援する目的で行われています。

この行事に参加するきっかけは、『刑務所の経済学』を執筆していたころ、当時会長でいらした土屋邦子先生との出会いでした。恥ずかしながら、私はそれまで少年院や刑務所を出て社会復帰を目指す人たちについてまったくの関心外でした。ましてや保護司や更女の方々がどのような活動をされているかも存じ上げませんでした。刑事罰を受けた人たちが施設に収容すればそれで終わりではない、むしろ出たあとが大切だと言うことを教えられたのです。



慶応義塾大学 商学部教授

中島 隆信

落葉の清掃

今年で三回目の参加になりますが、毎回いろいろな気づきがあります。昨年まではお堂脇の廊下で仏具磨きをやりましたが、今年は季節柄、七五三の参拝客が多かったため、本堂裏手にある開山堂というこぢんまりとしたお堂周辺の落ち葉掃除をしました。

深大寺の紅葉はすでに終盤にさしかかり、参道や裏庭はまるで黄色や赤の絨毯を敷き詰めたような光景でした。それを竹箒や熊手で掻き集め、袋にしまつていきます。砂利の間に挟まった落ち葉は掃除機で風を送つてはき出します。ようやく綺麗になったと一息つく側から、葉っぱがはらはらと落ちてきます。見上げれば枝にはまだ無数の葉たちがこれからそちらに行きますよと言わんばかりに私の方を向いています。

仏具磨きにはそれなりの達成感がありました。新品のようにぴかぴか光る仏具はあたかも自分の作品のようです。でも、落ち葉掃除はいくら掃いても切りがありません。それならやつても意味がないかというところではありません。掃き清めていくうちに、一瞬ですが何も考えず無心になれる

ときがあります。残念ながら、残念の足りない私は、次の瞬間に参拝客の足音でうつつに戻されてしまうのですが。



スス払い

更女のみなさんが作ってくださる昼食は、調布野菜の新鮮さと相まってとても味わい深いものでした。今年

は対象者の少年とも同じテーブルを囲みました。彼の屈託のない笑顔に無事の更生を願わずにはいられません

でした。

深大寺の活動は、世の中の動きを倫理で解釈する癖がついている私に新しい視点を与えてくれます。「象牙の塔」に籠りがちな人間にとつて、まさに「社会参加」の貴重な機会でもあるのです。

(八ページに続く)



楽しい昼食



桐友会だより

調布・狛江地区桐友会 会長 林 貞夫

桐友会は八月二十五日の総会で三役が再任し、十九名で二期目に入った。

十一月二十日、第二回健康講座を開催した。地域医療四十五年と学会でも経験豊かな中村昇先生(桐友会)の「最近話題になっている医療の話」は、ユーモアを交えて約一時間大変興味深かった。続いて自己紹介を兼ねた質疑応答で、殆ど全員が病歴について躊躇なく質問したことは、保護司会との交流が深化した証しと感激した。出席者は二十八名(保護司会十九名・桐友会八名事務局)で過去最高だった。この講座は三役が協議して昨年から実施しているが、今後も地区保護司会の協力を頂き継続したいと思う。

米寿を超えた私は、ときどき元気な秘訣はと聞かれることがある。医学的な根拠はないが、適度な運動と加齢を喜ぶ事と答える。「もう八十八才か」と嘆くのではなく「八十八才迄生きられた」と感謝して早く歳をとりたいと願っている。

全員が高齢の桐友会の運営は難しいが、健康長寿を目標に、関係各位のご指導とご協力を頂き推進したいと思います。

更生保護女性会だより

社会参加活動(深大寺清掃)に参加して

調布・狛江地区更生保護女性会 田中 芳子

十一月三十日、秋も深まった深大寺において、社会参加活動のお手伝いをさせていただきました。

更生保護女性会の役目は食事の担当です。前日の

準備、当日の配膳とみんなが手際よく進めていきます。今回初めて参加する人も何人かいて、今までの多くの先輩の知恵と経験が伝えられ、また新しい知識も加わり、味わいのある献立が作られていきます。調理のプロとして、また主婦としての長い経験に「母の心」が加味されていきます。

そして何よりも準備のための素晴らしい調理場と新鮮でおいしい野菜の提供があつてこそその食事作りだと感謝しています。

食事が終って、「美味しかった」の言葉と深大寺の美しい紅葉が私たちの何よりの励みです。

BBS会だより

立ち直りを地域で支えていく

調布・狛江地区BBS会 会長 北谷 慎太郎

私が更生保護の活動をする成年ボランティア団体「調布狛江地区BBS会」と出会ったのは、今から五年半前まだお酒も飲めない十九才の頃でした。その頃は、活動に参加すると対象者に間違われることもありましたが、次第に姿形が変わっていき、そんなこともなくなりました。時の流れというのは残酷なものです。社会人になり、会の活動を若手に引き継ごうと何度も試みましたが、ことごとく頓挫してしまいました。新規会員は増えたものの、それぞれがそれぞれの日常を抱えており、今のマネジメントを任せられる者はおりませんでした。残念ですが、ここで一旦活動に区切りをつけたいと思っております。ただ炎を絶やす訳ではなく小さな小さな炎でも燃やし続けることが大事なのだと思っています。いつかまた煌々と燃え上がる火災となるよう、BBS会は充電期間に入ります。

福祉まつり(バザー)に参加して

内野 陽次郎

昨年に引き続き「あいはここから」をテーマに、年末の風物詩となりました「調布市福祉まつり」が十二月六日(土)・七日(日)の両日、例年の調布市役所前庭から、メイン会場を調布駅南口広場に移し盛大に開催されました。

調布保護司会は七日の福祉バザーに参加を致しました。当日は厳しい寒さでしたが晴天に恵まれました。駅前の会場は熱気に溢れ当ブースにも親子連れなど多くの方に来訪して頂き、会員の方々と楽しくそして賑やかに言葉のキャッチボールを交わしながら、寄付物品・新鮮な野菜等の販売を行い、皆様のお陰をもちまして完売することができました。収益金は今後の福祉活動資金として活用されます。今年もご多用のところ皆様のご協力に深く感謝しお礼申し上げます。



バザーの様子



退任にあたって

前調布・狛江地区

会長 高木 光



平成二十六年
十二月二十一日、
三十四年間勤めさ
せて頂いた保護司
を無事定年退職す
る事が出来まし
た。この間皆様か

ら頂いた御厚情、御協力、御支援があったからこそ、
任務が全う出来た事であり、あらためて、誌上を通
じ心から御礼申し上げます。特に最後の一年六ヶ月
は地区会長を仰せつかり、大変お世話になりました。
地区の皆様はもとより、立川支部の観察官、多摩連
の多くの役員の皆様とも接する事が出来、多くの貴
重な経験を積む事が出来一生の財産となりました。

三十四年前、何も判らず言われるままに保護司
を引受け、ただひたすら走り続けて参りましたが、
この間、数えきれない対象者に出会い、別れてき
ましたが、良好解除を告げた時の嬉しそうな顔
は今でも忘れる事が出来ません。街で立派に成長
した顔を偶然見かける事が、何より保護司をやっ
て良かったなと思う至福の時です。末筆ながら地
区の益々の御発展と皆様の御活躍をお祈り致しま
す。

更生保護事業関係者 表彰者

法務大臣表彰

井上 喜一様
原 良男様

全国保護司連盟理事長表彰

飯塚 靖子様

関東地方更生保護委員会委員長表彰

大竹 寛様 岡本 幸次様
小川 保様 小川 時雄様
國分 牧子様 酒井 淳様
佐藤 正仁様 鈴木 宗貴様
富永 淑子様 浜中 佳朗様
眞山 勇一様

関東地方保護司連盟会長表彰

浅田 靖様 鈴木 俊一様
園田 和子様 林田 堯瞬様
峯岸 伴則様

東京保護観察所長表彰

内野陽次郎様 遠藤 好照様
小幡 邦仁様 小町 新一様
佐藤 亜古様 嶋田 弘子様
豊島 秀臣様 内藤 純衣様
長谷 瑞信様 門傳 良男様
谷田部一之様

東京保護観察所長表彰 (家族功労者)

原 峰子様

東京都保護司会連合会会長表彰

荒井 悟様 川又 剛様
栗山 剛様 齊藤百合子様

多摩地区保護司会連絡協議会会長感謝状

荒井 悟様 栗山 剛様

第六十四回 社会を明るくする運動作文コンテスト

優秀賞 (東京都保護司会連合会会長賞)

調布市立調布中学校三年 中村 梨世

奨励賞 (東京保護観察所長感謝状)

調布市立神代中学校
調布市立第三中学校
調布市立第七中学校

地区保護司新年会

一月十六日、調布クレスタントンホテルにて新年会
が、調布・狛江市長をはじめ、多くの皆様をお迎
えして行われました。当日、主任官
の誕生日と重なり、
サプライズ演出も
あって楽しいひと
ときを皆さんと過
ごし、よい新年の
はじまりとなりました。



(五ページの続き) 参加者の感想

① 社会参加活動に出席した保護司の感想 (抜粋)

*メインの場所を担当させてあげたかった
*毎年参加しているが今年も好天に恵まれ、紅葉の美しさは、最高だった。
*手順も判っているが担当のお堂が変わり戸惑った。

*調布、狛江両保護司が一丸となって社会貢献できる深大寺社会参加活動は素晴らしいことだと思えます。感謝の気持ちを忘れずに清掃するということをお言葉には非常に印象が残りしました。

② 対象者の様子はいかがでしたか。

*午前中の中みの参加であったが、非常に良く作業にあたっていた。食事もとてもおいしかったと後日感想を言ってくれた。
*深大寺は初めてと言っていたが、無事自転車で時間通り到着。

開山堂の担当で、笹ですすを払ったり、お堂の戸をふいたり、全てに参加。頑張っていた。深沙大王堂での仏具みがきにも気が入っているようだった。後日、家族にも話し、良い経験だったとのこと。

*非常に素直な対象者なので、いちいち指示を出さなくても自分から積極的に行うタイプなのと、言われたことはきちんと守るタイプだと思いますので問題なし。

③ 活動を充実させるための意見

*活動時間が長過ぎるのではないか。もっとプログラムを集約して、コンパクトにした方が、対象者

が参加しやすいと考える。

*これから深大寺さんの都合もあり変わっていくことはあると思うが、続けることが一番だと思う。対象者にとって忘れられない経験だと思う。

*年一回の事業だから大切に出来る事業だと思います。

対象者の感想 (原文そのまま)

*思ってみるより気持ちがいやらしい。人のために手伝いなどする作業も今後の人生につなげていきたいと思いました。

*普段ふれることない活動だったので貴重な体験ができてためになった

*普段出来ない体験もでき、自分が嫌いな掃除も楽しくできたのでとても楽しい活動だったと思います。

保護司会の今後の予定

- 四月 十日 調布分区総会
- 四月 十三日 狛江分区総会
- 四月 十七日 定期総会
- 五月三十一日 神代農場社会参加活動
- 六月 十一日 地域別定例研修第1期 (調布市総合福祉センター)
- 七月 一日 社明 駅頭広報
- 七月 十九日 青少年非行防止パネル展
- 七月 二十日 中学生サッカー教室
- 七月 二十五日 社明 狛江実施大会とコンサート
- 社明 調布実施大会
- 中学生意見発表会

あとがき

「調布狛江保護司会だより」三四号をお届けします。昨年十月に三三号をお届けしてからもう半年が経ってしまい、時間の経過の早さに驚いています。本号でも、深大寺社会参加活動、各種の保護司研修会を始め、盛り沢山の保護司会活動の様子を報告しています。平成二四年五月に保護司を拝命し、保護司三年目になりますが、保護司とはこんなに忙しかったのかと、保護司会だよりの編集に携わってみて、改めて感じました。

本号では、まず今年十八回目を迎えた深大寺社会参加活動を写真と保護観察対象少年等の感想文で紹介しました。また、東京保護観察所八王子支部の南元支部長からは、活動の意義等について丁寧な巻頭言をいただきました。昨年一月には臨時総会が開かれ、高木 光前会長の保護司退任に伴い、会長が鴨志田守久前副会長に交代しました。高木前会長から寄せられた一文を本号に掲載していますので、是非ご一読下さい。

新年度に向けて、心を新たにして保護司活動に取り組むたいと思っております。

柿澤 正夫

広報(編集) 部員

部長 白川精次	愛甲悦子
副部長 柿沢正夫	伊藤知弘
副部長 濱中佳朗	長谷瑞信
書記 嶋田弘子	林田堯瞬
書記 嶋田弘子	馬部久夫
書記 峯岸伴則	真山勇一
書記 桑田和紘	
会計 佐藤亜古	